

# 一般質問

## 市政のこころを問ひ

この定例会では、6月9日から11日の3日間、12名が登壇し、30項目にわたり、市政全般についてたずね、一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目(発言順)

※印が掲載した項目です。また、氏名の下の(一)は質問方式です。

- 星野 雅春 議員(一括)
  - ※1 市長の政治姿勢について
  - 2 住宅施策について
  - 3 刈谷市の危機管理について
- 新海 真規 議員(一括)
  - ※1 防犯パトロールについて
  - 2 児童・生徒の安全対策について
- 櫻谷 勝 議員(一問一答)
  - ※1 浸水対策について
  - 2 あさ地の環境保全について
- 野中 ひろみ 議員(一問一答)
  - ※1 国の平成21年度補正予算への市の対応について
  - 2 新型インフルエンザ対策について
  - 3 緑化推進について
- 野村 武文 議員(一括)
  - ※1 市職員の健康管理について
  - 2 多目的トイレの設置について
  - 3 介護保険制度の見直しについて
  - 4 農業の現状と再生について
- 壁谷 信洋 議員(一括)
  - ※1 新学習指導要領について
  - 2 刈谷市メール配信サービスについて
- 蜂須賀 信明 議員(一括)
  - ※1 刈谷市の防災・減災対策について
- 山内 智彦 議員(一問一答)
  - ※1 新庁舎への移転準備について
  - 2 地方分権に必要な機能の確立について
- 犬飼 博樹 議員(一問一答)
  - ※1 保育園・幼稚園・学校等の校庭の芝生化について
  - 2 電線の地中化について
- 渡辺 周二 議員(一括)
  - ※1 河川整備について
  - 2 市の環境施策について
- 山本 シモ子 議員(一括)
  - ※1 教育行政について
  - 2 誰もが安心して暮らせる住宅政策について
  - 3 平和行政について
  - 4 給食センターの運営について
- 白土 美恵子 議員(一問一答)
  - ※1 教育環境の整備について
  - 2 ひとり親家庭への支援について
  - 3 市税等の納付について

一般質問のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます。  
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/gikai/>  
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください。

### 星野 雅春 議員

#### マニフェストの進捗状況と今後

「不況の中でも柔軟に対応できる市政運営に努める」

**問** マニフェストの進捗状況、達成度についてどのように評価しているか。また今後の決意は。  
**答** 「まちづくりプラン」という名称で、内容、実施時期、数値目標などを公表しているが、本年3月末時点での評価としては、概ね順調に取り組んでいると考えている。今後の決意として、世界的な景気後退の中、年度計画もある程度の変更を余儀なくされると考えられ、施策事業の重点化も含め知恵と工夫を凝らしながら、市民が元気で幸せを実感できるまちを目指す。  
**問** 市民との信頼関係を増すためマニフェストの検証大会等を設定すべきと思うがどうか。  
**新海 真規 議員**  
ドライバーにより慎重な運転を促す児童生徒の安全対策



子どもたちを交通事故から守る

**問** 毎年、多くの子供たちが交通事故の被害者となっているが、本市における通学路の安全対策の現状と今後の拡大についてどのように考えているか。  
**答** 毎年、市内全小中学校からの通学路改善要望書をもとに、その主な対策として、現在、学

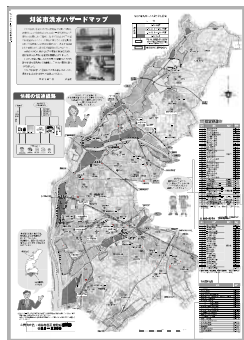
対策に有効であり、今後必要性を検討しながら整備していく。また、道路面への表示について、これはこれまでに事例はないが、表示することが可能かどうか関係各課と調整し、検討していく。

### 櫻谷 勝 議員

#### 危険箇所を周知して防災意識を向上

「過去の課題や要望を取り入れた洪水ハザードマップを作成」

**問** 災害に対して、住民一人一人が防災意識を高め、自分の住む地域の危険度を知ることが被害軽減につながると思うが、今回の洪水ハザードマップの改定内容はどのようなものか。  
**答** 平成14年に作成した洪水ハザードマップを基に浸水情報や避難情報等の課題や要望を整理し、洪水による人的被害を最小限にとどめることを目的としている。  
**問** 内水による浸水は、堤防の決壊や河川からの浸水よりも発生頻度が高く、市民生活や企業活動にも密接なかわりを持つため、洪水ハザードマップと一体となった、内水ハザードマップを作成してはどうか。  
**答** 内水による浸水想定区域を含むハザードマップとして、浸水想定区域や過去の浸水発生  
**問** 新型インフルエンザに対する本市の取り組みの現状はどうなっているか。  
**答** 世界保健機構がパンデミック警報レベルをフェーズ5に引き上げたことにより、保健センターに相談窓口を設置、あわせて保健所に発熱相談センターを開設したほか、感染拡大防止策の市民への周知徹底のためにホームページに情報を掲載した。また感染防止啓発用のポスタ



洪水ハザードマップ

### 野中 ひろみ 議員

#### 新型インフルエンザ対策

「対策本部を設置し迅速な対応に努めていきたい」



**問** 新型インフルエンザに対する本市の取り組みの現状はどうなっているか。  
**答** 世界保健機構がパンデミック警報レベルをフェーズ5に引き上げたことにより、保健センターに相談窓口を設置、あわせて保健所に発熱相談センターを開設したほか、感染拡大防止策の市民への周知徹底のためにホームページに情報を掲載した。また感染防止啓発用のポスタ

ーを作成し各施設で活用、さらに主要な公共施設に手指消毒剤を設置した。

問 市内で発生し緊急事態となった場合、市民からの相談を受け付けるための窓口を24時間体制とする予定はあるか。

答 市の相談窓口は一般的な相談となるため、感染の疑いのある場合などは保健所にて24時間体制で対応している。

野村 武文 議員

みんなが安心して暮らせるトイレの整備

野村 武文 議員



安心して利用できるトイレに

が、建設中の新庁舎や総合文化センターではどのように計画しているか。

問 人間が基本的な営みを行う上でトイレは絶対不可欠なものであるが、市の施設における多目的トイレの設置状況はどのようなになっているか。

答 平成6年のハートビル法施行以来、車いす対応トイレの整備を進めてきたところであるが、バリアフリー新法が施行されてからは、さらに身体の不自由な方、乳児を持つ母親などにとっても利用しやすい施設の整備に努めている。

問 身体が不自由な方などが安心して暮らせるように今後も

壁谷 信洋 議員

新学習指導要領による授業時間数増への対応

壁谷 信洋 議員

一國が規定する教員定数で、

問 今年度から始まる新学習指導要領への移行期間に伴う授

応には関係機関と連絡・連携を行うとともに、他市の状況を調査研究し、きめ細かな実効性のある行動計画づくりが必要と考

えているが、本市の対応はどのよう

答 新型インフルエンザ対策行動計画策定部会において、将来発生が懸念される強毒性のインフルエンザに対しても早い時期に行動計画等を策定してい

整備を進めてほしい

答 新庁舎では、オストメイト、乳幼児ベツドなどを備えた多目的トイレを1、2、6、8、9階の計5カ所に

整備する予定である。また、総合文化センターでは22カ所のうち12カ所が多目的トイレで、緊急呼び出しスイッチも整備されている。

問 学校ではどのような計画になっているか。

答 平成12年度から計画的に整備を行い、現在では全幼稚園、小中学校の1階に多目的トイレが設置されている。また、次年度に新入学する児童生徒の状況に合わせて設備改修するなどしながら校舎の改築時には統一的な整備を検討していきたい。

業時間数増と新しい学習内容への対応はどうなっているか。

答 今年度は、移行期の先行実施によって学習内容が増え、中学校1年生の数学で35時間、3年生の理科で25時間増加している。また、それに伴う必要な教材を購入するための費用を当初予算に盛り込み順次購入している。そして、先行実施分野の学習が円滑に行われるように、各学校と教育委員会が連携をし、昨年度中に新しい教育課程に沿った年間指導計画や週の時間割を作成し、現在進めている。

問 教育の現場では、事務量の増大、教員数の制限などで、先生の負担が増える中、平成24年

蜂須賀 信明 議員

市民への防災意識の徹底

蜂須賀 信明 議員

一自主防災を支援するほか、市民参加による総合防災訓練を実施し

は、市民一人一人の身を守るに自然災害から身を守るには、市民一人一人の自覚に根ざした自助と身近なコミュニティ等による共助が大切であるが、地区の自主防災会の活動実績と市の支援はどのような状況か。

答 昨年度は三角中やAEDを使った応急手当や初期消火訓練などを全体で29回行っており、市としても防災資機材の整備などに補助金を交付している。

問 市民に対してどのように防災意識の徹底を図っているか。

答 防災パンフレットや地震洪水ハザードマップを全戸配布したほか、訓練等の際に、非常食の備蓄や家具の転倒防止等、事前の備えを呼びかけている。また、今年度、参加者による消

問 自主防災会主催で防災講演会を開催するなど努めているが、自主防災会の役割と自主防災会のさらなる活性化策をどう

の完全実施の際に主要5教科の授業時間が増加することに対して教員OBの臨時講師や愛教大生、留学生にボランティアをお願いするなどの考えも検討してほしいが、現在、正教員数を増やすことを考えているか。

答 教員の数は、国が規定する学級数に応じた教員定数が定められている。当面、国は定数を変更していく計画を持っておらず、現在の定数の中で、教科の教員を確保するため、小中学校での教員の人事異動を行うなどで対処していきたいと考えている。

問 災害発生時に、消防等の救出救護が間に合わないことも想定されるため、住民が助け合う自主的な防災活動により被害を減少させることが大きな役割である。現在、活動がマニュアルの配布や防災リーダー派遣など支援をしているが、今後も新たな取り組みを検討していきたい。

問 市民参加による防災訓練

答 市民参加による防災訓練を実施し、市民参加による総合防災訓練を実施し

問 市民参加による防災訓練

答 市民参加による防災訓練を実施し、市民参加による総合防災訓練を実施し

問 市民参加による防災訓練

答 市民参加による防災訓練を実施し、市民参加による総合防災訓練を実施し

問 市民参加による防災訓練

委員会の動き

各委員会では議案や陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

所管事務調査

刈谷市総合計画基礎調査(かりやまちづくり白書)について 平成25年以降の新しいまちづくりの指針となる第7次刈谷市総合計画の策定に向け、現状や課題などを整理した基礎調査について報告がありました。

建設水道委員会

所管事務調査

調査では、第6次総合計画の達成度などを分析した上で、7つの重点課題と5つの基本方針を整理し、魅力ある刈谷市づくりの方向性をまとめています。そのほか「職員の政策形成能力向上研修について」などが話し合われました。

文教委員会

所管事務調査

「教育長の教育に対する見解について」「調整池を活用したテニスマスの整備について」などが話し合われました。

福祉経済委員会

所管事務調査

旧刈谷看護専門学校について 平成20年3月に閉校された刈谷看護専門学校について、市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。 市議会議員一同

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出す



病氣見舞



お祭りへの寄附や差入



本人が出席しない場合の結婚祝



本人が出席しない場合の葬式の香典



葬式の花輪、供花



お盆(新盆)



入学祝卒業祝



お中元お歳暮



町内会の基金や旅行などへの寄附や差入



市民参加による防災訓練